

東京外環自動車道 田尻工事

発注者 : 東日本高速道路(株)
施設所在地 : 千葉県市川市
調査見学時期 : 平成 27 年 1 月 28 日 (水)

工事概要

東京外環自動車道は国土交通省と東日本高速道路(株)が建設中の都心から半径約 15km のエリアを結ぶ延長約 85km の幹線道路で、3 環状 9 放射ネットワークの一部です。都心部からの放射道路を相互に連絡して、都心方向に集中する交通を分散するとともに、都心部の通過交通をバイパスさせる役割を担い、都心の渋滞緩和や環境の改善が期待されています。

田尻工事は、東京外環自動車道と京葉道路との接続ポイントとなる京葉 JCT を建設する工事です。外環自動車道本線部及び京葉 JCT ランプ部は半地下構造となっており地上部の京葉道路を迂回供用しながら地下で高速道路躯体の構築を行います。今回見学した D ランプは、地上部の道路への負担を軽減するためにハーモニカ工法とアンダーピニング工法により施工します。この D ランプは、急曲線 (R=61.9m) 下り勾配 (i=6.0%) のトンネルで、主要なトンネル工事は 3.98m×3.69m の鋼殻をハーモニカのように 5 列並べたトンネルの構築から始まります。見学時は、ハーモニカ工法による最初のトンネルの掘進が完了して掘削マシンを解体しているところで、発進立坑から到達立坑までのトンネル内部と掘削マシンを見学することができました。

ハーモニカ工法によるトンネル構築後は、狭いトンネル内部から山止め、支持杭、上床版、アンダーピニングの施工を行った後に、道路トンネル本体を構築する非常に高度で緻密な施工計画と施工管理を要する工事が続きます。事業計画では、平成 29 年度の開通を目指しています。

なお、本工事現場には工事関係者を含む女性 11 人で組織する「チームなでしこ外環田尻」があり、日本建設業連合会が女性技能労働者の活用策の一つとして立ち上げた「なでしこ工事チーム」の登録第 1 号となっています。女性技術者の活躍するモデル現場としても注目され、今後の活躍が期待されています。(GEC ニュース第 306 号より抜粋)